

資料提供年月日	平成26年10月31日	
問い合わせ先	課名	事業政策課
	電話	直通 803-1042 内線 3592
担当者	職名・氏名 職名・氏名	課長代理 赤坂 主査 中島

# 広 報 連 絡

＜市長記者会見資料＞

## 1. 件 名

「岡山未来づくりプロジェクト Imagineering OKAYAMA ART PROJECT」の  
プレスレビュー／オープニングセレモニーの開催について

## 2. 内 容

歴史まちづくり回遊社会実験「岡山未来づくりプロジェクト」のうち、現代アート「石川コレクション」の作品展「Imagineering OKAYAMA ART PROJECT」が、11月2日にスタートします。また2日の一般公開に先立ち、11月1日にプレスレビュー及び2日にオープニングセレモニーを開催します。

### (1) プレスレビュー

11月1日(土) 13:00～

＜主な会場予定＞

岡山城、後楽館天神校舎、柳川ロータリービル、岡電岡山駅前電停

※事前のお申込みがない場合は、柳川ロータリービルで受付いたします。

※岡電岡山駅前電停での特別アート電車の展示は以下のとおりです。詳細は別紙資料をご覧ください。

11:00～ 「KURO」岡山駅前電停 展示

12:00～ 「KURO」岡山駅前→城下→岡山駅前 運行

12:30～ 「KURO」岡山駅前電停 展示

13:15～ 「KURO」岡山駅前→城下→岡山駅前 運行

(2) オープニングセレモニー

11月2日(日) 10:00～ 岡山城天守閣前広場

挨拶 岡山市長 大森雅夫

(株)クロスカンパニー 代表取締役社長 <sup>いしかわやすはる</sup>石川康晴氏(プロジェクトメンバー)

テープカット

大森市長

プロジェクトメンバー

<sup>いしかわ</sup>石川 <sup>やすはる</sup>康晴氏

<sup>かたやま</sup>片山 <sup>まさみち</sup>正通氏 (株)ワンダーウォール代表)

<sup>なす</sup>那須 <sup>たろう</sup>太郎氏 (TARO NASU代表)

出展アーティスト

ライアン・ガンダー (Ryan Gander) 氏

<sup>しまぶく</sup>島袋 <sup>みちひろ</sup>道浩氏

<sup>こいずみ</sup>小泉 <sup>めいろ</sup>明郎氏

岡山市スポーツ少年団

卓球部児童2名

※オープニングでは、岡山市スポーツ少年団卓球部の皆さんにご参加いただき、リクリット・ティラバーニャ氏のアート作品(鏡面卓球台)を実際に使用していただく予定です。

※雨天決行です。ただし、荒天の場合は、会場を後楽館天神校舎跡地へ変更する場合がございます。変更の有無につきましては、Imagineering製作委員会事務局にお問い合わせいただくか、11月2日(日)の午前7時にImagineering公式サイトに掲載する告知をご覧ください。

Imagineering製作委員会事務局 電話 守屋(もりや):080-2900-3778

清水(しみず):090-5693-4209

Imagineering公式サイト <http://okayama-mirai.jp/imagineering/>

# IMAGINEERING

## Imagineering特別アート電車KURO

岡山電気軌道株式会社の路面電車「KURO」の車内にて、  
Martin Creed「Work No.1350 Half the air in a given space」を展示した  
Imagineering特別アート電車を運行致します。  
世界的アーティストの作品を特別な空間でお楽しみください。

場所 | 岡山電気軌道 岡山駅前電停・城下電停  
アート体験費用 | 500円※プレスの方は除く  
定員 | 20名程度



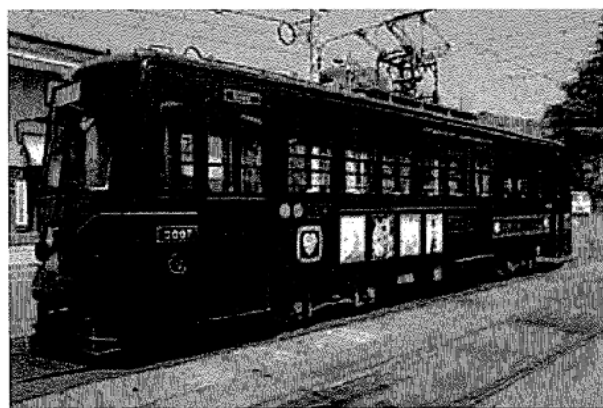
### Martin Creed

マーティン・クリード

©Martin Creed  
Photo: Hugo Glendinning  
Courtesy of Hauser & Wirth

### Work No. 1350 Half the air in a given space

イギリス生まれのクリードは機知に富んだ作風で知られる。風船を用いて目にみえない空気を可視化しようとする本作品は、わずかに視点を変えることで新しい世界観が獲得できることを鑑賞者に伝えている。



#### プレスプレビュー

11/1 sat ※11/1は城下電停で乗降はできません

11:00-12:00 岡山駅前電停 留置  
12:00-12:30 岡山駅-城下電停経由-岡山駅  
12:30-13:15 岡山駅前電停 留置  
13:15-13:45 岡山駅-城下電停経由-岡山駅

#### 一般運行日

11/2 sun 11/3 mon 11/8 sat  
11/15 sat 11/22 sat 11/29 sat  
12/6 sat 12/13 sat 12/20 sat  
13:30-14:00 岡山駅前電停 留置  
14:00-14:30 岡山駅-城下電停経由-岡山駅



**石川康晴 代表**

Imagineering OKAYAMA ART PROJECT 代表  
株式会社クロスカンパニー 代表取締役社長  
石川文化振興財団 代表理事

1970年、岡山県生まれ。岡山大学経済学部卒。京都大学大学院在学中。  
1994年クロスカンパニーを創業。  
1999年に「earth music&ecology」を立ち上げ、2011年9月には中国に進出。  
宮崎あおいを起用したテレビCMでも注目を集める。現在グループで売上1,000億円、従業員4,000名、29か国1,000店舗まで拡大。女性支援制度の充実、地域貢献活動へも積極的に取り組む。内閣府男女共同参画推進連携会議議員。  
[www.crosscompany.co.jp](http://www.crosscompany.co.jp)



**片山正通 アドバイザー/エキシビション・スペース・デザイン**

株式会社ワンダーウォール 代表  
武蔵野美術大学（空間演出デザイン学科）教授

1966年、岡山県生まれ。現在までに、ユニクロ グローバル旗艦店（NY、パリ、銀座、上海他） / INTERSECT BY LEXUS海外展開（予定：NY、ドバイ） / トム ブラウン ニューヨーク 青山 / NIKE原宿 / パリ・プランタン百貨店など、アジアはもとより、ヨーロッパ、北米、中東などで国際的にプロジェクトを手掛けている。2009年にはNHK総合「プロフェッショナル 仕事の流儀」が放映された。2014年6月には作品集「WONDERWALL ARCHIVES 02」が刊行。現在、世界的に最も注目を集めるインテリアデザイナーの一人である。

[wonder-wall.com](http://wonder-wall.com)  
[kuude.musabi.ac.jp](http://kuude.musabi.ac.jp)

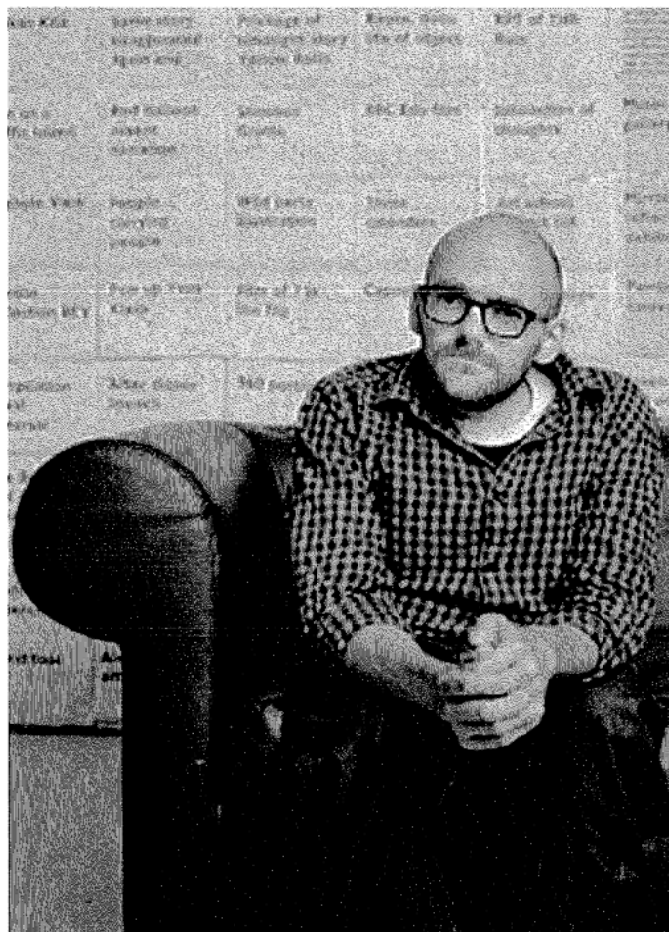


**那須太郎 アートアドバイザー**

TARO NASU 代表/ギャラリスト

1966年、岡山県生まれ。早稲田大学卒業。天満屋美術部勤務を経て、1998年東京都江東区に現代美術画廊TARO NASUを開廊。2008年に千代田区へ移転、現在に至る。著名な現代美術作家の展覧会を通じて美術の普及に務める。国内外の美術館等の公共機関との協働多数。

[www.taronasugallery.com](http://www.taronasugallery.com)  
[www.art-it.asia/u/taronasu](http://www.art-it.asia/u/taronasu)



© Ryan Gander Photo : Nathan Pask Courtesy of TARO NASU

## Ryan Gander ライアン・ガンダー

1976年、イギリス生まれ。現在ロンドンおよびサフォークを拠点として制作活動。現在は2013年よりスタートした個展「Make every show like it's your last」がヨーロッパ大陸、アメリカ大陸にまたがって国際的に巡回中(ル・プラトー、パリ/マンチェスター市立美術館、マンチェスターほか、2016年までに6カ国7カ所を巡回予定)。近年の他の主要な参加展覧会・国際展としては2012年のドクメンタ13、2011年「IllumiNATIONS」(第54回ヴェニス・ビエンナーレ、ヴェニス)など。日本では2011年「墜ちるイカロスー失われた展覧会」(メゾンエルメス、東京)、「Our Magic Hour」(横浜トリエンナーレ、神奈川)などが記憶に新しい。アート、デザイン、建築、ポップカルチャー等が織りなす重層的な構造を特徴とした作品で知られ、新しいコンセプチュアルアートの旗手として世界のアートシーンで注目を集める。



© Shimabuku Photo : Yuya Suzuki Courtesy of the Artist

## Shimabuku 島袋道浩

1969年、兵庫県生まれ。ベルリンを拠点に制作活動。近年の主な個展に2014年「Flying Me」(クストハレ・ベルン、スイス)、2013年「島袋道浩:能登」(金沢21世紀美術館、金沢)など。その他にもパリのポンピドー・センター、ロンドンのヘイワード・ギャラリーなどでのグループ展や、2014年 札幌国際芸術祭、2012年 シャルジャ・ビエンナーレ、2003年ヴェニス・ビエンナーレ、2006年サンパウロ・ビエンナーレなどの国際展にも数多く参加。1990年代初頭より世界中の多くの場所を移動しながら、そこに生きる人々の生活や新しいコミュニケーションのあり方に関するパフォーマンスやインスタレーション作品を制作している。



© Meiro Koizumi Courtesy of Annet Gelink Gallery

## Meiro Koizumi 小泉明郎

1976年、群馬県生まれ。東京にて制作活動中。主な個展に2014年「Double Projection」(アネット・ゲリンク ギャラリー、オランダ)、2013年「Projects 99 Meiro Koizumi」(ニューヨーク近代美術館、ニューヨーク)など、グループ展では2014年「Emories」(ヘルモント市立美術館、オランダ)、「Affects」(エアランゲン美術館、ドイツ)、「幸福は僕を見つけてくれるかな?」(東京オペラシティアートギャラリー、東京)、2013年「六本木クロッシング2013 - アウト・オブ・ダウト」(森美術館、東京)、2011年「インビジブル・メモリー」(原美術館、東京)ほか、世界各国での展覧会歴多数。神風特攻隊を主題にした近作「若き侍の肖像」や、コールセンターに電話をかけ続ける男の狂気を描いた作品「僕の声はきっとあなたに届いている」など、人間の持つ孤独や闇に焦点をあてた映像作品で知られる小泉明郎。国際的に評価される日本人若手作家の一人であり、2012年にはピンチュク財団創設のFuture Generation Art Prize賞を受賞している。Imagineeringに出品する初期作「Untitled」には、彼の作品世界の特徴ともなっている二つの要素、リリシズムと暴力性が鑑賞者の意表をつくかたちで鮮やかに融合している。